

「あったことをなかつたことにはできないう」



前文部科学事務次官

前川 喜平さん

プロフィール 前文部科学事務次官 前川 喜平さん (マエカワキヘイ) 奈良県生まれ、東京大学法学部卒業。文部省(当時)入省。大臣官房総括審議官などを経て、2016年文部科学事務次官に就任。2017年退官。同年5月、加計学園による獣医学部新設は「総理のご意向」だとする文書の内容を証言。政府の権力私物化を告発、批判している。現在、自主夜間中学のスタッフとして活躍。近著に寺脇研氏との共著『これからの日本、これからの教育』(ちくま書房)、『面従服背』(毎日新聞出版)



「これからの日本、これからの教育」

～日本と教育の未来を示す憲法の輝き～

第一部 講演

第二部 質疑応答

日時 2018年9月29日(土) 17時～19時10分(受付16時～)

場所 京都教育文化センターホール 京大病院南側 京阪電車神宮丸太町駅より徒歩5分 〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町 4-13 (定員 ホール400人 第2会場300人)

※入場は先着順です。満員の場合、入場をお断りする場合があります。

参加費 500円 (京都市教育研究集会全体会)

主催団体 地域子育て教育ネットワーク京都、京都市教職員組合 連絡先 京都市教職員組合 〒606-8397 京都府京都市左京区聖護院川原町 4-13 京都府教育会館 TEL 075-771-9171 FAX 075-751-0851 Mail shikyoso@kyoto-shikyoso.ne.jp

と、安倍政権の国政私物化に異を唱えた、元文部科学省事務方トップの前川喜平さん。招かれる講演会はどこも超満員。長く文部行政に携わった者として、憲法と旧教育基本法の大切さを訴えられています。安倍政権のもと、「個人よりも国家を重んじ、国家の一員として責任を果たす人間が大事」とされていることに危機感を感じ、さらに、「本来、道徳教育は憲法の理想を実現するための『市民教育』が中核」と今の道徳教育のあり方にも批判の声をあげておられます。これからの日本、教育はどうあるべきか、ここ京都で大いに語っていただきます。